

令和7年8月5日（火）【秩父市長 職員向けメッセージ】

皆さま、おはようございます。秩父市長の清野和彦です。

本日は、「課題意識とビジョン」というテーマで、皆さまと共有したいこととお話しさせていただきます。

私たちは今、さまざまな課題の真っ只中にいます。人口減少、少子高齢化、働き手不足、そして、地域経済や産業の持続可能性など、課題を挙げれば枚挙にいとまがありません。

とりわけ秩父市のような中山間地域においては、これまで通りのやり方では持続が難しい時代に入っています。

このような状況に向き合うとき、私たちにまず必要なのは「課題意識」であると考えます。

自分たちのまちが直面している現実に対し、「これは何とかしなければいけない」と思う気持ち。この感情こそが、最初の行動を生み出す大きなエネルギーになります。

私も、現場で聞いた市民の皆さまの声や、自分の目を見た地域の変化に触れるたびに、「このままではいけない」という強い思いを抱きます。

しかし、課題意識だけでは、人は長くは動き続けられません。危機感や焦り、義務感といったものは、一時的には行動の火をつけますが、それだけでは心が疲弊してしまい、やがて立ち止まってしまうこともあるでしょう。

だからこそ、私たちには「ビジョン」が必要です。ビジョンとは、理想の未来の姿を描いたものです。言い換えれば、「私たちが、どんな秩父市をつくりたいか」という希望の地図です。遠くの山頂のように、今すぐにはたどり着けないかもしれませんが、けれども、その存在を信じ、目指す方向が定まっていれば、私たちは迷わず歩き続けることができます。

そして、もう一つ大切にしたいことがあります。

それは、「できたことを認め、共有する」ということです。変化は、いつも劇的な形で現れるわけではありません。むしろ、多くは小さな変化の積み重ねであると考えています。

私はいつも、できたことを見逃さない、肯定のまなざしを持ちたいと思っています。課題意識を持って現実に向き合い、ビジョンを描いて未来に向かって進む。その過程で生まれた成果を認め合い、称え合い、また次の一歩へとつなげていく。この好循環を、秩父市役所の中から、秩父全体に広げていきたい。それが私の願いです。

これからも、秩父の今と未来にしっかりと目を向けながら、一步一步着実に、前へ進んでまいりましょう。

市役所庁内などで私を見かけましたら、ぜひ気軽に声を掛けていただきたいと思います。呼び止めていただいて結構です。皆さんのお考えや思いを、ぜひ教えてください。今月も頑張りましょう。どうぞ、よろしく願いいたします。